

第五次御嵩町総合計画 基本計画（素案）

平成 27 年 12 月

■ 計画の体系

まちの将来像（案）

笑顔がつながる みどりがあふれる みんなが輝くまち みたけ

目指すまちの姿（案）

1 環境を誇りとするまち

- ★優れた環境を次の世代にしっかりと引継ぐまち
- ★環境未来都市を見据え、率先して環境行動に取り組むまち

方向1-1 みどりと水を守り育てる

- 里山や生態系の保全
- 水辺環境と農地の保全
- 自然とのふれあい・居住

方向1-2 環境にやさしいまちを実現する

- 環境モデル都市の推進
- 循環型社会の形成

2 笑顔で育ちあうまち

- ★生涯にわたって学びの機会があり、学びあうことができるまち
- ★さまざまな人が社会に参画し、まちづくりを担う人材が育つまち

方向2-1 未来を担う人材を育てる

- 学校での人づくり
- 青少年の健全育成
- ふるさと教育の推進

方向2-2 学びあいの中から人材を育む

- 人権の尊重
- 男女共同参画の推進
- 生涯学習の推進
- ふるさと教育の推進（再）

3 みんなが支え合うまち

- ★人と人、地域と地域のつながりを大切にするまち
- ★ふれあい、支え合いにより安全・安心に暮らせるまち

方向3-1 住民自治活動を活発化する

- 地域自治の強化
- 地域防災活動の推進
- 地域福祉活動の推進

方向3-2 誰もが安心して暮らせるまちにする

- 地域福祉活動の推進（再）
- 子育て支援の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者福祉の充実

方向3-3 暮らしの安全を確保する

- 地域防災体制の強化
- 防犯活動の推進
- 青少年の健全育成（再）
- 交通安全の推進

方向3-4 町民の健康づくりを支援する

- 健康づくりの推進
- 保健の充実
- スポーツの振興
- 食育の推進

4 多くの人が行き交うまち

★多くの御嵩ファンが訪れ、交流し、にぎわいが生まれるまち

★人・地域との交流から、新しい活力が生まれるまち

方向4-1 地域資源を生かし、交流の機会を増やす

- 観光魅力の向上
- おもてなしの充実
- 地域振興イベントの開催

方向4-2 地域の魅力を効果的に発信する

- タウン・プロモーションの推進
- 地域情報の発信強化

方向4-3 魅力的な産業創造に挑戦する

- 将来につなげる農林業の推進
- 魅力的な商業・サービス業の育成
- 工業団地の整備と企業誘致
- 起業支援と雇用機会の創出

5 暮らしたくなるまち

★御嵩らしさの魅力度を高め、個性的で豊かな暮らしができるまち

★安全性、利便性、快適性などの暮らしの基本要素が保障されるまち

方向5-1 暮らしの安全・安心を支える

- 亜炭鉱廃坑対策の着実な推進
- 治山治水対策
- 消防・救急体制の充実
- 信頼できる医療体制の確立

方向5-2 まちの個性と地域文化の創造

- 景観の保全
- 歴史文化の保全と継承
- 地域文化の創造化

方向5-3 まちの特性にあわせた都市基盤・環境を整備する

- 公共交通の利用促進と体系の見直し
- 道路の整備と維持管理
- 上下水道の整備と維持管理
- 地域環境の美化促進
- 御嵩らしさが生きる市街地の整備

方向1-1 みどりと水を守り育てる

- 里山保全ボランティアへの参加促進や、事業所との森づくり協定、森林経営信託制度により里山の保全を進めます。
- 希少野生生物について、専門家の協力を得て、生息状況の調査と保全のための対策を進めます。
- 水辺環境や湿地、農業用ため池の保全を図ります。
- 農業の担い手確保や農地の集約により、農地の保全と遊休農地の解消を図ります。
- レクリエーションや環境学習、保全活動などを通じて、豊かな自然にふれあい親しむ機会や場づくりを充実します。
- 豊かな自然環境を求めて御嵩町にやってくる移住者の受け入れを促します。

《基本施策》

みどりと
水を守り
育てる

《単位施策》

●里山や生態系の保全

●水辺環境と農地の保全

●自然とのふれあい・居住

《主要関連計画》

◆（総合的計画）

環境基本計画

環境モデル都市行動計画

◆（個別計画）

●成果指標

基本成果指標	現状値		
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
信託契約を結ぶ民有林（総合戦略）	〇〇〇 (ha)	〇〇〇 (ha)	〇〇〇 (ha)
遊休農地の面積	〇〇〇 (ha)	〇〇〇 (ha)	〇〇〇 (ha)
自然環境を大切に、親しむ割合 （住民意識調査）	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
新規移住者数（総合戦略）	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)

●現状と課題

- ボランティア「水土里隊」を結成して里山保全に取り組んでいますが、参加者の拡大が課題

(写真)

- 事業者との森づくり協定の締結は、その拡大が課題

(写真) または協定リスト

☆図表、または写真を一つは入れる。

方向1-2 環境にやさしいまちを実現する

- 地域資源を最大限に活用し、低炭素化と持続的発展を両立する環境モデル都市の実現を図ります。
- 森林の再生、公共交通の再生と次世代自動車への転換、家庭・事業所での削減活動、分散型エネルギーへのシフト、人づくり・場づくりの推進など、行動計画に定める施策の具現化を着実に進めます。
- 生ごみの堆肥化、廃食用油の燃料化をはじめとするごみ減量化の取り組みを促進するとともに、環境にやさしい商品（グリーン製品）の利用拡大、ごみの分別収集の徹底などを推進し、3R（Reduce 発生抑制、Reuse 再使用、Recycle 再生利用）に積極的に取り組みます。
- ささゆりクリーンパークの効率的な運営を関係市町と進めるとともに、南山一般廃棄物処分場の適正管理を進めます。

《基本施策》

環境にやさしいまちを実現する

《単位施策》

●環境モデル都市の推進

●循環型社会の形成

《主要関連計画》

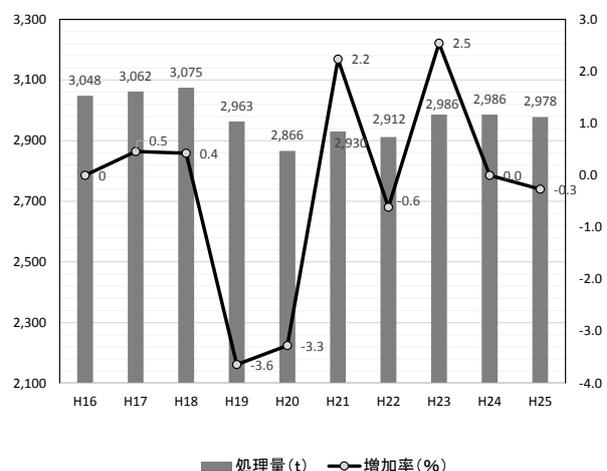
- ◆（総合的計画）
環境基本計画
環境モデル都市行動計画
- ◆（個別計画）
クリーンエネルギービジョン
地球温暖化対策実行計画
一般廃棄物処理計画

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成27)年度 2009年(平21年)	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度 2018年(平30年)
CO ₂ 削減目標 (環境モデル都市行動計画)	17.6(万t)		14.1(万t)
再生可能エネルギー導入施設数 (公共施設のみ) (総合戦略)	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)
生活系可燃ごみ排出量(重量) (一般廃棄物処理計画)	平成24年度 2,986トン	平成24年度比 361トン減量 (△12%)	

●現状と課題

- 可茂地区廃棄物処理実績（生活系可燃ごみ）は、平成24、25年と減少しています。
- 環境モデル都市の将来イメージ。



資料：住民環境課（可茂衛生施設利用組合） 各年3月31日現在

方向2-1 未来を担う人材を育てる

- 子どもの自立力・共生力・創造力・自己実現力を養い、夢の実現に向けた力と、人とのつながりを大切にする力を育みます。
- 子どもが健全に育ち学び続けることができるように、幼稚園・保育園・小学校及び中学校までの一貫した教育を進めます。
- グローバル化や情報化などの社会環境の急速な変化にも対応することができる教育プログラムを進め、人材を育成します。
- 家族の絆を深めることができるように、家庭教育を継続的に支援します。
- 地域と家庭と学校の連携を強化して、開かれた学校運営と地域における教育を進めます。
- 青少年が非行や犯罪に巻き込まれないように、子ども会活動への参加促進や社会参加の機会を提供するなど、青少年の健全育成を進めます。
- 地域とともに、子どもが地域にふれあう機会を充実し、ふるさとへの愛着を強く持ち、ふるさとを生かすための豊かな発想を持つ人材を育成します。
- 若者がふるさと「みだけ」に誇りを持つように、魅力ある催しや地域活動の展開を支援します。

《基本施策》

未来を担う
人材を
育てる

《単位施策》

●学校での人づくり

●青少年の健全育成

●ふるさと教育の推進

《主要関連計画》

◆（総合的計画）

21世紀御嵩町教育・夢プラン

◆（個別計画）

各小学校の学校経営の方針等

●成果指標

基本成果指標	現状値		目標値	
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
児童生徒の学力（総合戦略）				
学校教育の満足度（住民意識調査）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）
学校サポーターの数	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）
公民館子ども教室の参加者数	〇〇〇（人）	〇〇〇（人）	〇〇〇（人）	〇〇〇（人）
子どもに御嵩の良さを伝えている割合（住民意識調査）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）

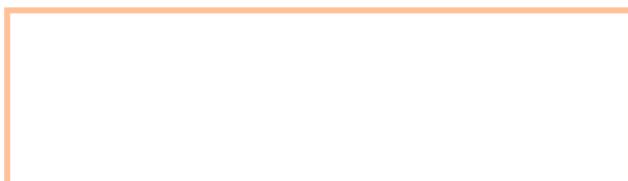
●現状と課題

- 教育・夢プラン推進基本構想図（第二次改訂より）。

「御嵩町教育・夢プラン」は第三次改訂中

または、課題に結びつくデータ（不登校児童生徒数の推移、いじめ認知件数など）

子どもの環境学習や公民館での子どもの参加の様子の写真



方向2-2 学びあいの中から人材を育む

- ・町民一人ひとりが家庭や学校や職場、地域社会のあらゆる場面で人権を尊重して行動し、性別や出身地・国、文化的背景などの差別をなくし、みんなが共生する明るい住みやすい社会を築きます。
- ・男女が尊重しあいそれぞれが生き方を選択し能力を発揮して、ともに支え合い活力ある社会を築き合います。
- ・住民の心豊かな生活や生きがいづくりのために、地域の特性に応じた公民館活動の充実と、住民が気軽に参加することができ世代間や他地域との交流ができる生涯学習の機会を充実します。
- ・成熟社会を迎えている中で地域においてますます求められる、中山道の活性化、文化の継承、環境、福祉、健康づくり、食育、地域産業、ボランティア活動などを学ぶ機会を充実するとともに、その経験を生かすことができる機会を提供します。
- ・地域とともに、子どもが地域にふれあう機会を充実し、ふるさとへの愛着を強く持ち、ふるさとを生かすための豊かな発想を持つ人材を育成します。

《基本施策》

未来を担う
人材を
育てる

《単位施策》

●人権の尊重

●男女共同参画の推進

●生涯学習の推進

●ふるさと教育の推進（再）

《主要関連計画》

◆（総合的計画）
人権啓発・教育に関する基本計画
21世紀御嵩町教育・夢プラン

◆（個別計画）
男女共同参画プラン

●成果指標

基本成果指標	現状値		
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
地域外国人と交流している割合 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
女性の社会参加促進の満足度 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
生涯学習・文化継承の活動に取り組んでいる割合 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)

●現状と課題

- ・生涯学習団体の状況（旧基本計画）または、生涯学習講座、公民館講座への参加者数

方向3-1 住民自治活動を活発化する

- 地域における防災や防犯、地域福祉、環境保全などの活動の必要性について自治会・住民の理解を促し、住民自治力を強化します。
- 防災等のためにコミュニティリーダーを育成するとともに、子育て支援や健康づくりなど住民が交流する機会づくりや、集会施設の整備などを支援します。
- 地域が主体となって、地域の課題を把握して、みんなでより良い地域をめざすためのビジョンや計画づくりを支援します。
- 地域において自助、共助の意識を高めるとともに、自分たちの住む地域を守るための自治会等におけるハザードマップづくり、防災訓練などの取り組みを促します。
- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域が社会福祉協議会や事業所、NPO・ボランティアと連携して、地域福祉の担い手の育成や生活支援などの地域福祉活動の充実を支援します。

《基本施策》

住民活動を
活発化する

《単位施策》

●地域自治の強化

●地域防災活動の推進

●地域福祉活動の推進

《主要関連計画》

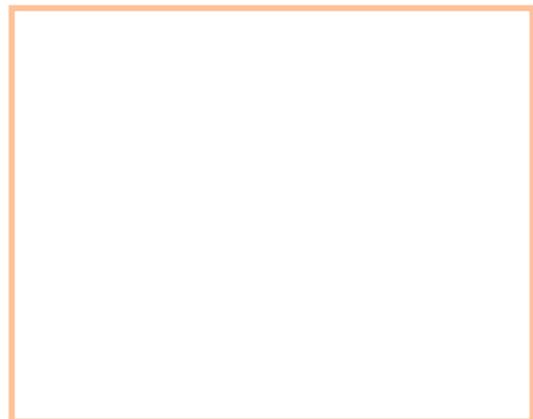
- ◆（総合的計画）
地域防災計画
地域福祉計画
- ◆（個別計画）

● 成果指標

基本成果指標	現状値		
	2015(平成 27)年度	2016年(平成 28)年度	2021(平成 33)年度
自治会加入率	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
災害時の備えに取り組んでいる割合 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
高齢者・障がい者の手助けに取り組む住民の割合 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)

● 現状と課題

- 地区別の自治会加入率の推移など



方向3-2 誰もが安心して暮らせるまちにする

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域が社会福祉協議会や事業所、NPO・ボランティアと連携して、地域福祉の担い手の育成や生活支援などの地域福祉活動の充実を支援します。
- 子育て世代や高齢者、障がい者の身近な地域における生活を支えるために、地域に密着した生活支援サービスを充実します。
- 多様な保育サービスの実施や子育て支援サービスを充実して、快適に子育てができるまちとしての魅力を高めます。
- 「ぽっぽかん」など子育て支援施設における多世代交流の充実や、子育てサークルの支援、ファミリーサポートセンターの運営を充実します。
- 高齢者や障がい者が住み慣れた地域や家で生活することができるように、適切な介護サービスや在宅福祉サービスの提供、介護予防や生きがいづくりの支援、個別の障がいに応じたケアなど、地域における包括的な福祉サービスを提供します。
- 障がいについての住民の理解を促進するとともに、障がい者の就労や社会参加の拡大を図ります。

《基本施策》

誰もが安心して暮らせるまちにする

《単位施策》

●地域福祉の活動の推進（再）

●子育て支援の充実

●高齢者福祉の充実

●障がい者福祉の充実

《主要関連計画》

◆（総合的計画）

地域福祉計画

◆（個別計画）

次世代行動育成計画

高齢化福祉計画・介護保険事業

計画

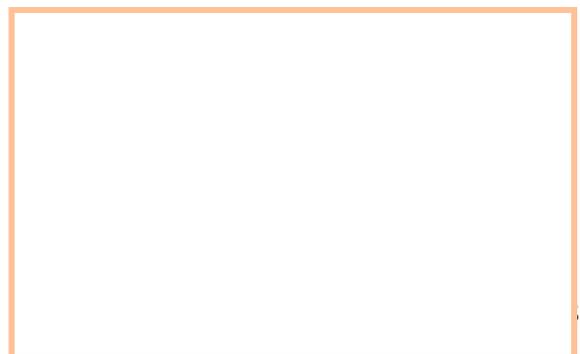
障がい者福祉計画

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
福祉関連のボランティア団体の数	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
子育て期家族の手助けに取り組む割合 (住民意識調査)	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)
高齢者・障がい者の手助けに取り組む住民の割合 (住民意識調査)：再掲	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)
高齢者に占める要介護認定者の割合	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)	〇〇〇(%)

●現状と課題

- 福祉関連のボランティア団体の数 または、
- 要介護認定者と高齢者に占める割合



方向3-3 暮らしの安全を確保する

- 地域防災計画の見直しを進めるとともに、防災情報の伝達体制の充実や防災拠点の充実など、町の防災体制を強化します。
- 自治会単位で自主防災組織の創設を促すとともに、防災倉庫や資機材等の充実、防災リーダーの育成、防災訓練や災害時要援護者の避難訓練などを進めて、地域主体の防災体制を強化します。
- 地域における防犯力を高めるために、不審者情報の伝達を行うとともに、自主的な児童生徒の登下校時の見守り、防犯パトロールなどの活動の強化を促します。
- 地域防犯環境の向上を図るために、防犯灯の設置の支援や「子ども110番の家」の充実を促します。
- 青少年が非行や犯罪に巻き込まれないように、子ども会活動への参加促進や社会参加の機会を提供するなど、青少年の健全育成を進めます。
- 交通安全環境の向上を図るために、交通安全施設の整備や交通規則の見直しを要請します。また、誰もが交通事故の被害者や加害者にならないように、交通安全に対する意識を強く持つように啓発を強化します。

《基本施策》

暮らしの
安全を
確保する

《単位施策》

●地域防災体制の強化

●防犯活動の推進

●青少年の健全育成（再）

●交通安全の推進

《主要関連計画》

◆（総合的計画）
地域防災計画

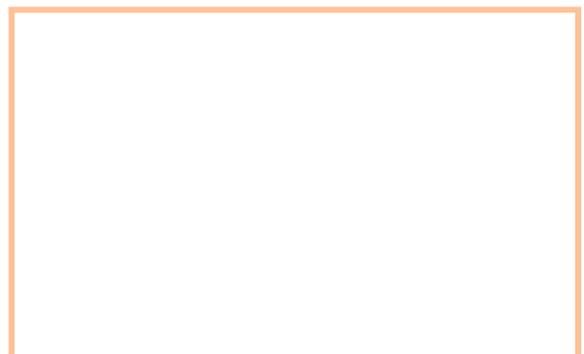
◆（個別計画）
災害時要援護者個別支援計画

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
防災体制の満足度（住民意識調査）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）
刑法犯罪認知件数（件）	〇〇〇（件）	〇〇〇（件）	〇〇〇（件）
防犯体制の満足度（住民意識調査）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）
年間の交通事故発生件数（件）	〇〇〇（件）	〇〇〇（件）	〇〇〇（件）
交通安全施設整備の満足度 （住民意識調査）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）

●現状と課題

- 刑法犯認知件数、交通事故発生件数
または、• 防災訓練、登下校見守り、交通安全立哨の写真など



方向3-4 町民の健康づくりを支援する

- ・町民一人ひとりが生活習慣に注意するなど、健康づくり意識を高めるとともに、住民の健康づくりのための活動を充実します。
- ・町内の健康づくりを推進するリーダーとして、健康推進員（仮称）を養成します。
- ・子どもが健やかに成長するために、母子や乳幼児期からの健康づくりを支援します。
- ・若い世代など成人の健康教育や健康相談を充実するとともに、心の悩みを抱える住民のサポートを行います。
- ・町民が身近でスポーツを楽しむことができるように、みたけスポーツ・文化倶楽部等の団体の支援や指導者の育成を充実するとともに、スポーツ施設・設備の計画的な維持管理を進めます。
- ・町民の豊かな食生活を実現するために、学校・家庭・地域や地元農家等が連携して、安全な食の確保と食育を推進します。

《基本施策》

町民の
健康づくり
を支援する

《単位施策》

●健康づくりの推進

●保健の充実

●スポーツの振興

●食育の推進

《主要関連計画》

◆（総合的計画）

健康推進計画・食育推進計画
21世紀御嵩町教育・夢プラン

◆（個別計画）

新型インフルエンザ等対策行動
計画

●成果指標

基本成果指標	現状値		
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
健診受診率	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
健康増進に取り組む割合 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)
スポーツ施設整備の満足度 (住民意識調査)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)	〇〇〇 (%)

●現状と課題

- ・健診・検診受診率の推移、みたけスポーツ・文化倶楽部の会員数の推移または写真など



方向 4-1 地域資源を生かし、交流の機会を増やす

- ・御嶽宿や伏見宿の保全・再生はもとより、地域の歴史や自然などの資源を改めて見直し、その資源を大切にしながら、住民、各種団体、事業者等が一体となって、新たな観光拠点の整備や特産品の開発・研究を進めます。
- ・住民と来訪者とのふれあいを通して、御嵩の魅力を伝えていくため、住民のおもてなしの心の醸成、案内・ガイドの人材育成ならびにシステム整備を進めます。
- ・「よってりゃあみたけ夏祭り」や「みたけの森まつり」など地域に定着したイベントをさらに盛り上げていくとともに、多くの人に御嵩町に訪れてもらうよう、住民主体（住民発案）による様々な地域イベントの開催を支援します。

《基本施策》

地域資源を生かし、交流の機会を増やす

《単位施策》

- 観光魅力の向上
- おもてなしの充実
- 地域振興イベントの開催

《主要関連計画》

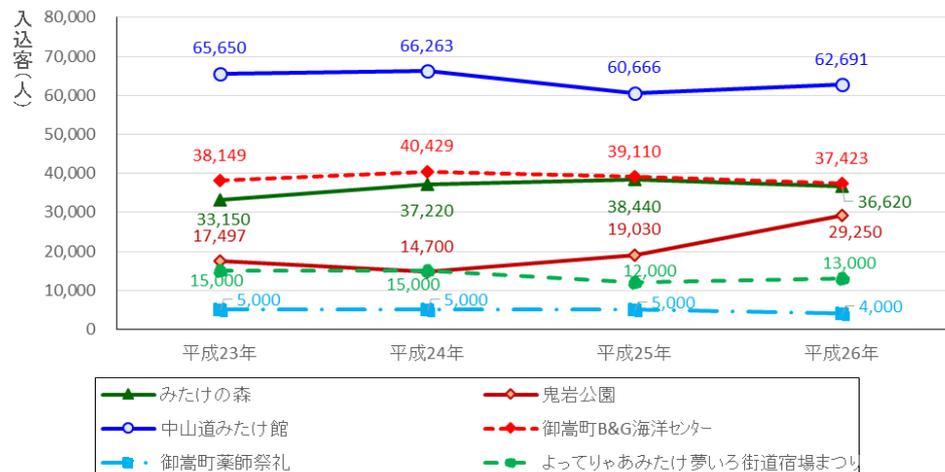
- ◆（総合的計画）
- ◆（個別計画）
御嶽宿地域再生構想（平成27年度まで）

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
観光入り込み客数 (岐阜県観光入込客統計調査)	2014(平成26)年 18万(人)	18万(人)	20万(人)
外国人観光客数(総合戦略)			
新規特産品開発数(総合戦略)	〇〇(%)	〇〇(%)	〇〇(%)

●現状と課題

- ・町内に観光地点やイベント開催を増やして、入り込み客数を拡大していくことが課題。



- ・まちのたね見つけ隊では、ナイトイベント、願興寺プロジェクトマッピング、食べ歩きウォーキングなどの事業提案がなされています。一つずつ実現化していくことが望まれます。

方向 4-2 地域の魅力を効果的に発信する

- 町の地域イメージの向上ならびに地域のブランド化を進め、総合的に町の魅力を高めていくことをめざして、御嵩のタウン・プロモーションを展開します。
- まずは、様々な媒体を活用して、自然や歴史・文化、地域産業など地域の魅力を積極的に町内外に情報発信します。
- 総合的に地域の魅力を発信していく取組を通じて、より多くの人に「行ってみたい」、「住んでみたい」、「事業してみたい」と感じられる魅力あふれるイメージ形成を図ります。

《基本施策》

地域の魅力を効果的に発信する

《単位施策》

●タウン・プロモーションの推進

●地域情報の発信強化

《主要関連計画》

◆（総合的計画）

◆（個別計画）

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成 27)年度	2016年(平成 28)年度	2021(平成 33)年度
子どもや若者にとって住み続ける魅力があると回答する人の割合（住民意識調査）	2014（平成 26）年 18.4（%）	（%）	（%）
町外者にとって「住んでみたい」、「来訪したい」というイメージがあると回答する人の割合（住民意識調査）	2014（平成 26）年 6.2（%）	（%）	（%）
みたけフェイスブック閲覧数			

●現状と課題

- 平成 25 年 5 月 29 日から、御嵩町公式フェイスブックページを開発しています。フェイスブックを新たな広報手段として活用し、町のお知らせをはじめ、「みたけ」の魅力や観光情報、旬な話題など幅広く発信しています。



- 持続的なまちづくりを進めていくためには、「行ってみたい」、「住んでみたい」、「事業してみたい」まちとしての信頼と評価を高めていくことが課題です。

方向 4-3 魅力的な産業創造に挑戦する

- 地域営農組織、新規就農者の育成支援等により担い手確保を図りつつ、バイオマス利用、地産地消の推進、環境にやさしい農業など未来につなげる農業を展開します。
- 林業基盤の整備、計画的な施業推進により、着実に森林の整備・保全を進めます。
- 町民の暮らしに必要な商業の確保、国道 21 号バイパスの立地条件を生かした店舗の誘致を促すとともに、町の魅力化・個性化につながる商業の育成を図ります。
- 既存工業団地への企業誘致を図るとともに、新たな工業団地の計画を推進します。
- 人材育成、創業支援などの取組を強化し、町の資源を生かして新たな事業に取り組みようという若者や女性を支援し、多様な雇用機会の創出につなげます。

《基本施策》

魅力的な
産業創造に
挑戦する

《単位施策》

●将来につなげる農林業の推進

●魅力的な商業・サービス業の育成

●工業団地の整備と企業誘致

●起業支援と雇用機会の創出

《主要関連計画》

- ◆（総合的計画）
都市計画マスタープラン
- ◆（個別計画）
人・農地プラン
森林整備計画、集約化計画

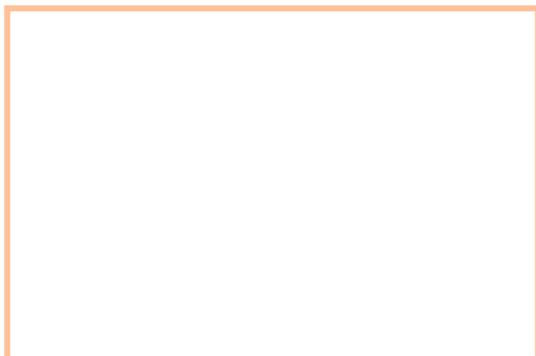
●成果指標

基本成果指標	現状値		
	2015(平成 27)年度	2016年(平成 28)年度	2021(平成 33)年度
新規就農者数（新規就農者支援事業を通じた農業定着者数）（総合戦略）	（人）	（人）	（人）
工業団地への企業誘致数 （実際に誘致した企業の数）	（事業所）	（事業所）	（事業所）
創業塾受講者数	（人）	（人）	（人）

●現状と課題

- 農産物の地産地消、6次産業化、農商工連携などに取り組みながら、地域での経済循環の流れを拡大していく必要があります。
(写真/可児って)

- 町内でも森の中にあるケーキ屋さんが人気を博しています。御嵩町の立地条件や環境を上手に生かした店舗づくりなどを促していくことが望まれます。
(写真/ラ・プロヴァンス)



方向 5-1 暮らしの安全・安心を支える

- ・亜炭鉱廃坑の防災対策を進めるため、町民への周知を図るとともに、「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」を活用した防災工事を着実に推進します。あわせて、継続的な防災対策が可能となるように国・県等への要望を継続します。
- ・森林・農地の保水機能を保持するとともに、山地崩壊・土砂流出を予防するための調査ならびに治山・砂防工事を推進します。また、水害防止のための河川改修等についても計画的に推進します。
- ・常備消防（可茂消防事務組合南消防署御嵩分署）の機能充実を図るとともに、消防団を中心とした地域防災力の強化を図ります。また救急体制の充実に努めます。
- ・行政および地域の医療関係者相互の連携、広域的な連携を強化して、住民に迅速で適切な医療サービスを提供できる体制を確立します。

《基本施策》

暮らしの
安全・安心を
支える

《単位施策》

●亜炭鉱廃坑対策の着実な推進

●治山治水対策

●消防・救急体制の充実

●信頼できる医療体制の確立

《主要関連計画》

◆（総合的計画）

◆（個別計画）

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成 27)年度	2016年(平成 28)年度	2021(平成 33)年度
亜炭鉱ハザードマップ作成率（総合戦略）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）
医療体制についての満足度（住民意識調査）	2014（平成 26）年 5. 6（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）
	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）	〇〇〇（％）

●現状と課題

- ・亜炭鉱跡防災モデル事業を活用して、危険箇所の調査、防災工事を実施していくことが課題です。

（写真／陥没箇所）

- ・亜炭鉱廃坑対策として、町民に亜炭鉱ハザードマップの周知を図っていくことが課題です。

（写真／亜炭鉱ハザードマップ）

方向 5-2 まちの個性と地域文化の創造

- 町の大きな魅力の一つである自然景観や田園景観など“みどりの景観”を、町民の誇れる財産として守り育てます。そのため、林業の計画的な施業や農地保全を進めるとともに、みどりを守り育てる住民団体の活動を支援します。
- 本町は古くは中山道の宿場町および門前町として栄えました。その時点から400年以上の歴史があります。こうした町の歴史・文化、伝統が次の世代に継承されるよう、文化遺産の保存、伝統行事の継承を進めるほか、住民が歴史を学ぶことのできる機会を提供します。
- 地域の伝統や個性に根ざした住民の自主的な活動を通じて、住民団体による新しい文化活動を推進し、「御嵩らしさ」が感じられる地域文化を創造します。

《基本施策》

まちの個性
と地域文化
の創造

《単位施策》

●景観の保全

●歴史文化の保全と継承

●地域文化の創造

《主要関連計画》

- ◆（総合的計画）
都市計画マスタープラン
- ◆（個別計画）

●成果指標

基本成果指標	現状値	目標値	
	2015(平成27)年度	2016年(平成28)年度	2021(平成33)年度
景観づくりに関する満足度（評点） （住民意識調査）	2014（平成26）年 0.05		

●現状と課題

- 住民意識調査によれば、「自然が多い、空気や水がきれい、植物・動物の生息など」の自然と、「願興寺、祭り、中山道など」の歴史・文化が、御嵩町の自慢として上位にあげられています。

• 御嵩町を代表する自然景観。
（写真／みたけの森・ささゆり）

• 御嵩町を代表する歴史文化資源。
（写真／願興寺）

方向 5-3 まちの特性にあわせた都市基盤・環境を整備する

- ・鉄道事業者と協力して名鉄広見線の利用促進を図ります。また、駅周辺での都市機能集積を促すとともに、バスや自転車、駐車場との連携強化を進めます。
- ・主要地方道および県道の整備促進を図ります。また、道路の長寿命化を見すえた維持管理、空洞調査を踏まえた防災対策を講じていきます。
- ・上水道施設の整備、管路の更新、未普及地域の解消を進めます。生活排水については地域特性に応じた汚水処理施設の普及を図ります。
- ・環境汚染防止のための監視体制を強化するほか、環境美化活動を推進します。また、空き家・空き地の適正管理を促すとともに、これらを活用した定住者の受け入れなど地域振興に生かします。
- ・駅周辺や国道 21 号バイパス周辺では、それらの立地に応じて適正な土地利用誘導を図りつつ、御嵩らしさを感じることができる個性豊かな市街地整備を進めます。

《基本施策》

まちの特性
にあわせた
都市基盤・
環境を
整備する

《単位施策》

●公共交通の利用促進と体系の見直し

●道路の整備と維持管理

●上下水道の整備と維持管理

●地域環境の美化促進

●御嵩らしさが生きる市街地の整備

《主要関連計画》

- ◆（総合的計画）
都市計画マスタープラン
- ◆（個別計画）

●成果指標

基本成果指標	現状値		目標値	
	2015(平成 27)年度	2016年(平成 28)年度	2016年(平成 28)年度	2021(平成 33)年度
名鉄広見線利用者数（総合戦略）		(人)	(人)	(人)
パーク＆ライド拠点数（総合戦略）				
空き家を活用した移住件数（総合戦略）		(事業所)	(事業所)	(事業所)
中山道みたけ館 観光入込客数	62,691 (人)		(人)	(人)

●現状と課題

- ・名鉄広見線は御嵩町における公共交通の中軸です。その存続は町の重要課題です。

・名鉄広見線。
(写真/名鉄御嵩駅)

・名鉄広見線の利用者数の推移。
(グラフ化)